

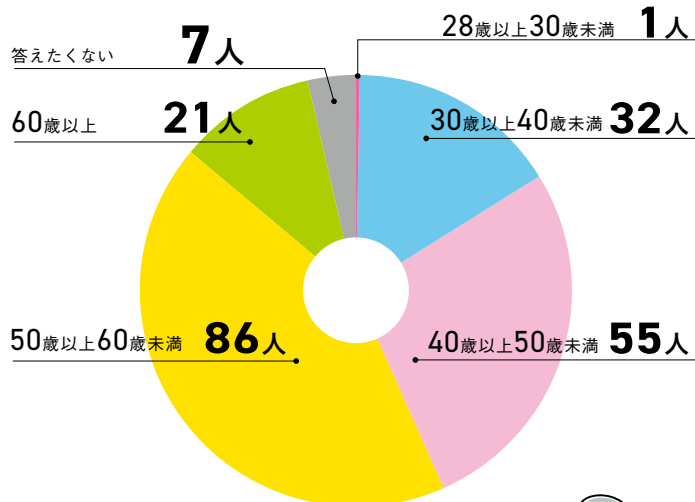
RESEARCH



国立病院機構の指導医 **202**人に

“研修を振り返って若手医師に伝えたいこと”をテーマに聞きました！

Q. あなたの年齢は？



Q. 休日の過ごし方は？

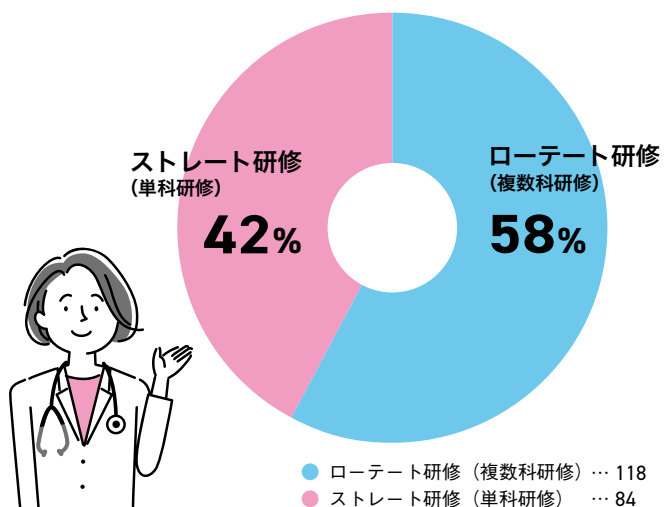


1位 家で過ごす	167
2位 家族と過ごす	149
3位 趣味の時間	82
4位 ショッピング	70
5位 身体を動かす(ジョギングなど)	69
6位 散歩	36
7位 飲み会などの交流	25
8位 食べ歩き	17
その他	13

(複数回答)



Q. どのタイプの初期研修を行いましたか



Q. ご自身が受けた研修内容について感想を教えてください

- 明確な目的意識をもって、興味がある科を初期から研修できた。
男性・1996年卒・ストレート研修(単科研修)
- 厳しい指導を仰げたから。患者さんを第一に考える癖を付けてもらった。
男性・1999年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 多数の科を回ることによってその科の専門を学ぶことができ、かつ人脈も形成することができた。
男性・2007年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 特に不満はなかったが、今の研修医のような研修をうけられたらよかったのになと思う。
女性・1995年卒・ストレート研修(単科研修)
- 専門科になった今でも、初期研修時代に身につけた知識や手技が役立っている。
また、ローテートすることで交友関係が広がった。
女性・1997年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 非常に素晴らしい指導医に恵まれ、多くの症例、病態を経験させてもらった。
男性・2004年卒・ローテート研修(複数科研修)

Q. 初期研修を振り返り「もっとこうしておけばよかった」と思うことはありますか？

- 迷惑と思っても聞けばよかった。例えば救急など積極的に勉強すればよかった。
女性・2001年卒・ストレート研修(単科研修)
- 色々な科を幅広く回っておくべきだった。
男性・2022年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 学会参加や、論文作成など、学術的な手法をしっかり学んでおけばよかった。
女性・1997年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 学習、経験、交流(医師、多職種、患者さん)。真面目に振り返れば限りがないぐらいです。
男性・1989年卒・ストレート研修(単科研修)
- 将来選択しないと思っている診療科でも、この機会を逃すと学ぶタイミングがなくなるのでしっかり真面目に取り組むべきだった。
女性・2016年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 積極的に、患者さんとコミュニケーションをとっておけばよかった。
女性・2000年卒・ローテート研修(複数科研修)

Q. 研修医が研修期間を通じて心がけるべきことや取り組む姿勢があれば教えてください

- 患者さんの前では医師免許を持ったプロです。自立して勉強し実践してください。
男性・2003年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 将来志望しない科の研修を大切にすること。
男性・1997年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 効率の良さばかりを求めず、じっくり考えじっくり対応する機会、苦勞する機会をもつことが後々とても役に立つと思います。
男性・2006年卒・ローテート研修(複数科研修)
- 自分自身が主治医として、患者さんの生死に直接かかわっていると思って働いてほしい。
男性・2001年卒・ストレート研修(単科研修)



Q. 研修中に苦勞したこと、印象に残っていることがあれば教えてください

- 1年目の6月、胸痛で救急搬送された患者さんが目の前で心室細動になりました。経験の浅い看護師しかいない中、頭が真っ白になり、とりあえずBLSだけを開始。1分ほどで上級医が到着し、除細動ですぐに蘇生できました。心室細動には除細動が当たり前なのに、動揺すると抜け落ちると痛感した出来事でした。
男性・2011年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- ストレート研修で皮膚科のみを回っていたため、1か月救急を研修した際、一般医としての力不足を痛感しました。フルローテーションで学ぶ若い研修医たちが羨ましく思えました。
男性・1996年卒・ストレート研修（単科研修）
- 放射線治療科で研修している時に、当時の教授の「世界を見てこい」という指示の元、アメリカの学会に連れて行ってもらった。その経験をもとに、自分も海外学会で発表したり、海外留学したりすることに壁を感じなくなった。
男性・2005年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 白血病の患者さんから、私の死を経験し、成長して、良い医者になってくださいといわれたこと。
男性・2001年卒・ストレート研修（単科研修）
- 暴れている患者さんを体を張って止めたこと。
男性・2002年卒・ローテーション研修（複数科研修）



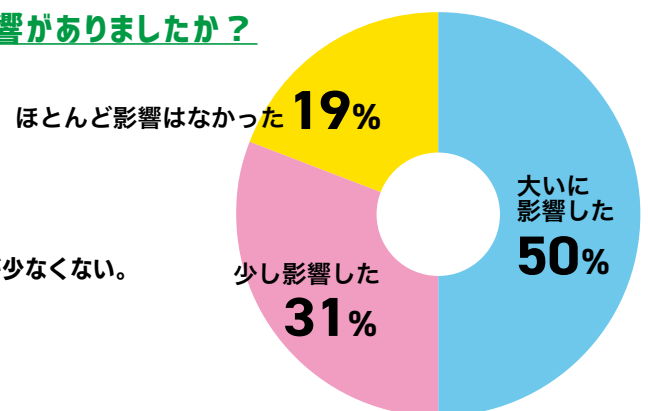
Q. 初期研修医におすすめしたい学習法や生活習慣があれば教えてください

- 働き方改革は大切ですが、可能な限り現場に立ち会って学んでください。間違いを恐れず、上級医に相談する前にはベストを尽くした自身の見解をカルテに記載してください。
男性・2003年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- やりたくないなと思うことが、今一番やらなければいけないこと、という意識を持つこと。
男性・1988年卒・ストレート研修（単科研修）
- 患者さんに学ぶこと。
男性・1986年卒・ストレート研修（単科研修）
- 運動習慣を身につけた方がよいです。学生と違って仕事は体力勝負です。
男性・2006年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 先輩医師の経験に耳を傾けるのが良いのではないのでしょうか。ネット情報だけではなく。
男性・2001年卒・ストレート研修（単科研修）



Q. 「医師の働き方改革」は、臨床研修の教育・指導する側の医師に影響がありましたか？影響があった内容を教えてください

- 診療点数をあげる行為は削減できないので、限られた時間の中では教育が最も削減されやすい。実際教育目的のカンファレンスは大幅に減少した。
男性・2004年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 研修医の指導を時間内に優先するため、診療関連の業務を時間外に回さざるを得なくなることが少なくない。
女性・2006年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 産婦人科のような時間外に経験のチャンスが多い科では指導できることが大いに減ったと思います。
女性・2007年卒・ローテーション研修（複数科研修）



Q. 「医師の働き方改革」によって、時間内・外の勤務負担に影響はありましたか？影響があった内容を教えてください

- 良い意味でも悪い意味でも業務密度が増した。
男性・2004年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 効率性を重視するようになった。
男性・1988年卒・ストレート研修（単科研修）
- 同じ密度のことをより短い時間で行う必要がある。
男性・2000年卒・ストレート研修（単科研修）
- ファーストコールが研修医でなくなった。
男性・1993年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 無駄を省くのですが、長い目で見てそれが無駄なのかは検証が必要。
女性・1995年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 時間外を減らすよう努力するようになった。
男性・2009年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 時間外を減少させる力が外から働いた事は大変よかった。内部からはその力は働かない事が多いので。
男性・2004年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 今までは休日にも患者さんの回診にきていたが、今では休日はなるべく当直医に任せる方針になったおかげで、しっかり休めるようになってよかった。
女性・2016年卒・ローテーション研修（複数科研修）
- 時間効率を考える事は重要で、その点がプラスに働けば、大きな影響はない。ただし、時間配分により、患者さんや指導に無理が生じてしまう事が、影響していると思われる。
男性・1988年卒・ストレート研修（単科研修）

